



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤマノホールディングス

コード番号 7571 URL <http://www.yamano-hd.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高執行責任者 (氏名) 山野 義友

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理副本部長兼財務経理部長 (氏名) 岡田 充弘

TEL 03-3376-7878

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,012	△0.5	△165	—	△179	—	△158	—
27年3月期第1四半期	5,039	△10.9	△196	—	△219	—	△203	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △167百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △236百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△4.61	—
27年3月期第1四半期	△5.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	11,040	2,227	8.3
27年3月期	11,288	2,610	11.0

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 921百万円 27年3月期 1,241百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
27年3月期	—	0.00	—	2.00	円 銭	2.00
28年3月期	—	—	—	—	円 銭	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	円 銭	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,580	△1.9	△40	—	△55	—	△69	—	△2.00
通期	22,800	△1.6	380	227.1	350	320.4	230	29.0	6.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	34,497,058 株	27年3月期	34,497,058 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	15,966 株	27年3月期	15,966 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	34,481,092 株	27年3月期1Q	34,481,092 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表及び財務諸表の監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、第1四半期決算補足説明資料を、この四半期決算短信公表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (1) 業績

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に企業収益や雇用・所得環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、円安の進行による物価上昇や海外景気の下振れリスク等により、先行きにつきましては依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、グループの共通戦略として掲げている「ソフトと価値の提供」に基づき、各事業における収益力の向上に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高につきましては店舗閉鎖等の影響があり、50億12百万円（前年同四半期比0.5%減）となりましたが、利益面では、営業損失1億65百万円（前年同四半期は営業損失1億96百万円）、経常損失1億79百万円（前年同四半期は経常損失2億19百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億58百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億3百万円）と改善いたしました。

当社グループのセグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### 1) 「美容事業」

美容事業につきましては、当第1四半期連結累計期間においては「アンチエイジングサロン」への店舗改修を3店舗実施するほか、ブランド統一による採用・販促効果の向上を図るため、68店舗の店舗名を「My jStyle by Yamano」に統一し、「Yamano」ブランドの屋号導入を実施いたしました。

なお、平成27年6月30日現在の店舗数は、直営103店舗、FCは5店舗となっております。

売上高は、競合店の増加が続く厳しい事業環境下で集客減もあり、5億92百万円（前年同四半期比2.2%減）となり、セグメント利益3百万円（前年同四半期比70.5%減）となりました。

#### 2) 「スポーツ事業」

スポーツ事業につきましては専門店ならではの提案力強化の施策としてメンテナンスサービスの商品化を推進しており、メンテナンス売上高は前年同四半期比で109.8%と伸長しておりますが、当四半期でデベロッパー都合による店舗閉鎖が1店舗あり、平成27年6月30日現在の店舗数は16店舗となりました。

この結果、売上高は6億97百万円（前年同四半期比1.4%減）となり、セグメント損失74百万円（前年同四半期はセグメント損失75百万円）となりました。

#### 3) 「DSM事業」

DSM事業につきましては、お買い物以外の顧客ニーズに応える催事を継続的に開催する一方で、各ショップにて洋装品を中心としたミニ展示会を開催し、商品提案の場を広げる施策を行っておりますが、当四半期で事業所2拠点の閉鎖があり、平成27年6月30日現在の店舗数は78店舗となっております。

この結果、DSM事業の売上高は6億35百万円（前年同四半期比6.8%減）となりましたが、販促費等の効果的な運用等により、セグメント利益は9百万円（前年同四半期比110.2%増）となりました。

#### 4) 「和装宝飾事業」

当第1四半期連結累計期間において、事業の選択と集中による経営資源の集中を目的として、アパレル事業を平成27年6月1日付で事業譲渡いたしました。また当四半期で宝飾小売店舗1店舗の閉鎖を実施したことにより、平成27年6月30日現在の店舗数は、和装小売店舗が64店舗、宝飾小売店舗が20店舗となっております。

アパレル事業の譲渡や店舗数の減少等はありませんでしたが、和装小売事業の売上高は前年同期比105.1%と好調に推移しました。その結果、売上高は14億92百万円（前年同四半期比0.4%増）となり、セグメント損失38百万円（前年同四半期はセグメント損失59百万円）となりました。

#### 5) 「卸売事業」

卸売事業につきましては、「卸から顧客創造」戦略として百貨店における売場コーナー化を推進しております。なお、平成27年6月30日現在のタケオニシダ直営店の店舗数は17店舗となっております。

当第1四半期連結累計期間における卸売事業の売上高は、地方百貨店への売上が低調に推移し、13億93百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。また、高止まりした原材料の価格転嫁が進まず、セグメント損失66百万円（前年同四半期はセグメント損失61百万円）となりました。

6)「その他の事業」

その他の事業の事業内容は、主に堀田（上海）貿易有限公司の意匠撚糸の販売、株式会社ヤマノセイビングの前払式特定取引業による手数料収益であります。

その他の事業の売上高は、2億1百万円（前年同四半期比36.5%増）となり、セグメント利益3百万円（前年同四半期はセグメント損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間より「企業結合に関する会計基準」等を適用しており、当第1四半期連結会計期間の総資産及び純資産は当該会計方針の変更に伴う遡及処理の内容を反映させた数値で前四半期連結累計期間との比較を行っております。

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて2億48百万円減少し110億40百万円となりました。これは主に、現金及び預金が96百万円減少、受取手形及び売掛金が2億77百万円減少、商品及び製品が2億20百万円増加、会計方針の変更によるのれん1億5百万円の減少によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1億34百万円増加し88億12百万円となりました。その主な要因は、短期借入金が2億37百万円増加、長期借入金が40百万円減少、長期末払金が53百万円減少したことによるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ3億82百万円減少し22億27百万円となりました。これは主に、剰余金の配当68百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失1億58百万円、会計方針変更による利益剰余金1億4百万円の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、前回（平成27年5月15日付「平成27年3月期決算短信」にて公表しております。）の内容から変更はありません。

今後、業績予想に変更の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、  
当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の当第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、のれん105,850千円及び資本剰余金1,259千円が減少するとともに、利益剰余金が104,590千円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ10,950千円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,008,821	1,912,818
受取手形及び売掛金	2,450,795	2,173,237
電子記録債権	74,041	82,208
商品及び製品	3,015,518	3,235,645
仕掛品	23,035	16,394
原材料及び貯蔵品	53,366	72,736
繰延税金資産	39,970	39,970
その他	326,205	358,528
貸倒引当金	△41,608	△39,627
流動資産合計	7,950,147	7,851,912
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,690,806	1,677,584
減価償却累計額	△1,172,915	△1,162,397
建物及び構築物(純額)	517,890	515,187
機械装置及び運搬具	14,253	13,873
減価償却累計額	△13,748	△13,389
機械装置及び運搬具(純額)	504	484
工具、器具及び備品	442,149	445,017
減価償却累計額	△398,764	△392,121
工具、器具及び備品(純額)	43,385	52,896
土地	727,521	727,521
リース資産	64,472	64,472
減価償却累計額	△27,026	△30,670
リース資産(純額)	37,445	33,801
有形固定資産合計	1,326,748	1,329,891
無形固定資産		
のれん	137,837	29,320
その他	136,375	127,303
無形固定資産合計	274,212	156,623
投資その他の資産		
投資有価証券	165,876	196,836
長期貸付金	10,842	11,053
繰延税金資産	95,162	93,547
敷金及び保証金	1,234,276	1,167,991
その他	393,629	400,925
貸倒引当金	△162,834	△168,773
投資その他の資産合計	1,736,953	1,701,580
固定資産合計	3,337,914	3,188,095
資産合計	11,288,062	11,040,007

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,389,382	2,417,786
電子記録債務	558,944	570,255
短期借入金	290,000	527,000
1年内返済予定の長期借入金	312,680	311,560
未払金	536,730	549,840
前受金	1,222,832	1,287,459
未払法人税等	54,888	14,961
賞与引当金	10,000	11,980
返品調整引当金	13,495	9,903
ポイント引当金	52,793	51,056
株主優待引当金	4,041	4,041
資産除去債務	10,722	6,780
その他	532,788	460,720
流動負債合計	5,989,299	6,223,346
固定負債		
長期借入金	2,071,300	2,030,910
長期末払金	223,257	169,339
繰延税金負債	29,175	37,000
資産除去債務	235,392	231,367
その他	128,955	120,048
固定負債合計	2,688,079	2,588,665
負債合計	8,677,379	8,812,011
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,259	-
利益剰余金	1,111,229	778,766
自己株式	△3,019	△3,019
株主資本合計	1,209,470	875,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,754	31,845
為替換算調整勘定	13,751	13,832
その他の包括利益累計額合計	32,506	45,678
非支配株主持分	1,368,705	1,306,570
純資産合計	2,610,682	2,227,995
負債純資産合計	11,288,062	11,040,007

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	5,039,819	5,012,835
売上原価	2,964,458	2,976,232
売上総利益	2,075,360	2,036,603
販売費及び一般管理費	2,271,925	2,201,907
営業損失(△)	△196,565	△165,303
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,580	1,724
受取地代家賃	2,950	3,023
負ののれん償却額	169	-
その他	3,799	2,450
営業外収益合計	8,499	7,198
営業外費用		
支払利息	11,000	11,153
手形売却損	632	687
支払手数料	9,320	499
その他	10,116	8,668
営業外費用合計	31,070	21,009
経常損失(△)	△219,135	△179,114
特別利益		
事業譲渡益	-	7,890
負ののれん発生益	20,136	-
特別利益合計	20,136	7,890
特別損失		
固定資産除却損	1,538	626
減損損失	1,545	-
店舗閉鎖損失	4,984	2,955
その他	1,744	-
特別損失合計	9,813	3,581
税金等調整前四半期純損失(△)	△208,813	△174,805
法人税、住民税及び事業税	26,723	13,557
法人税等調整額	△670	△613
法人税等合計	26,053	12,944
四半期純損失(△)	△234,866	△187,749
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△31,145	△28,832
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△203,721	△158,917

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△234,866	△187,749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,670	20,495
為替換算調整勘定	△3,065	142
その他の包括利益合計	△1,395	20,637
四半期包括利益	△236,261	△167,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△203,643	△145,745
非支配株主に係る四半期包括利益	△32,617	△21,366

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

## 1. 配当の支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月15日 取締役会	普通株式	51,721	1.50	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

## 2. 基準日が第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 配当の支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月15日 取締役会	普通株式	68,962	2.00	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

## 2. 基準日が第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	DSM	和装宝飾	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	606,056	707,687	681,804	1,486,436	1,410,546
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	24,797
計	606,056	707,687	681,804	1,486,436	1,435,343
セグメント利益又は損失(△)	10,429	△75,415	4,299	△59,788	△61,316

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	4,892,532	147,286	5,039,819	—	5,039,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,797	12,807	37,604	△37,604	—
計	4,917,329	160,094	5,077,423	△37,604	5,039,819
セグメント利益又は損失(△)	△181,792	△1,127	△182,919	△13,645	△196,565

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△13,645千円には、セグメント間取引消去2,238千円、のれん償却額△12,334千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,530千円及び棚卸資産の調整額1,981千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「和装宝飾」セグメントにおいて、店舗閉鎖の決定による減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては1,545千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である堀田丸正株式会社より、HMリテーニング株式会社の株式を取得し、当社の100%子会社としたことに伴い、「和装宝飾」セグメントにおいて負ののれん発生益を20,136千円計上しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	DSM	和装宝飾	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	592,597	697,799	635,554	1,492,187	1,393,635
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	23,005
計	592,597	697,799	635,554	1,492,187	1,416,641
セグメント利益又は損失(△)	3,072	△74,543	9,039	△38,166	△66,538

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	4,811,775	201,060	5,012,835	—	5,012,835
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,005	11,475	34,480	△34,480	—
計	4,834,780	212,535	5,047,316	△34,480	5,012,835
セグメント利益又は損失(△)	△167,136	3,814	△163,322	△1,981	△165,303

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,981千円には、セグメント間取引消去2,238千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,220千円及び棚卸資産の調整額△1,999千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

企業結合会計基準等の適用により、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の当第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、のれんが105,850千円減少しております。